



網野学園学年・特別支援学級・養護部会 7月29日(金)

7月29日(金)網野学園担任会等を実施しました。各部会の前に、1学期に網野学園の小学1年生の保護者と子ども達を対象に実施した「まなびスタート調査(就学前の生活経験などから児童が獲得している概念や知識の中で国語や算数の学習に相関している内容を見取るための調査)」の分析をしていただいた京都ノートルダム女子大学現代人間学部心理学科特任教授 高井直美 様の話をお聞きました。そして、まなび調査の結果から課題を改善するための取組み例を保護者・園所・学校別にそれぞれ教えていただきました。網野学園では、認知能力と非認知能力を一体に育てていくために、家庭と学校・園所で連携した取組みを進めていきたいと考えています。ここでは、家庭での取組み例を紹介します。参考にしていたければ幸いです。



5歳児～7歳児ごろに取り組んだらよいこと(家庭編)

- ①テレビ・ゲームの時間が無制限にならないよう生活リズムづくりに気を配る。
- ②町にある看板等の文字・記号を子どもと一緒に見て会話をする。
- ③親子で時計を見る習慣をつける。
- ④絵本や児童書が日常にある環境を作る。
- ⑤しりとり遊び(ことば遊び)・トランプ・すごろく(数遊び)などを一緒に楽しむ。
- ⑥子どもの話をよく聞き、子どもに関心をもってコミュニケーションする。

参加した教員の感想

- ・遊びの中で言葉や数のやりとりが行われる事の大切さを実感しました。また、幼児期からの絵本の読み聞かせも大切だと講義にもあり、園での活動内容も見直しながら、日々子どもたちと関わっていきたいと思いました。
- ・保護者の皆さんに伝わり、意識していただけるような丁寧な啓発の仕方を探っていききたいです。小学校(特に1年生)で取り入れられることを積極的にしていきたいと思いました。また、家庭での生活経験やこども園・保育園での学びにつながる取組み等をよく理解し、接続を大事にし、1年生の子どもたちを受け入れていきたいと感じました。
- ・何気ない当たり前の生活行動でも、学習の基礎となる数への関心につながる声かけをしていくことで、今後の学習能力の向上、意欲に大きく影響していくことが分かりました。今後の指導にいかし、児童のさらなる意欲向上・学習定着につなげていきたいです。
- ・身の回りのことに興味を持ち、子どもと一緒に楽しむことが大切なんだと改めて感じました。生活と学びを結びつけるという視点は、低学年にも大切なことですが、低学年だけでなく、中・高学年にも通ずるものがあると思います。

講義の後は、保幼小連携部会(5歳児・小1合同部会)・小2～小6の各部会・特別支援学級部会・養護部会に分かれて、育成したい「非認知能力」についての交流や児童の様子等、年度当初の計画に基づいて話し合いを進めました。保幼小連携部会の後半は、5歳児担任会と小1部会に分かれて話し合いをしました。5歳児担任会では、8月18日の保育研究会に向けて研修をしました。



網野学園第2回全体研修会を実施しました。8月18日(木)

8月18日(木) 網野学園第2回全体研修会を開催しました。午前中に、網野学園各園所で保育研究会を計画していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大のため中止としました。充実した研究会になるように研修や準備を進めていただけに残念です。午後は、予定通りに網野中学校で全体会を実施しました。網野中学校からの学力及び生徒指導、教育相談についての課題提起の後、Nordic Educations 代表 教育コンサルタント 徳留 宏紀様に、『学力テストで測れない非認知能力を学校で伸ばすために』という演題で講演をしていただきました。



◎講演より(抜粋)

- ・『非認知能力』は、自ら意識することが大切である。「いいね」と褒めることで、「こうなりたい」「もっとこうなりたい」と自ら意識させることができる。非認知能力は「あたりまえ」にしてしまうと見つからない。
- ・変化や気付きを見取り、価値づけていく見取りの専門性を身に付ける必要がある。見取り(変化や気付き)を子どもに フィードバックし、子どもと価値を共有することで行動を強化することができる。
- ・見取りのレンズを子ども達と共有することで、子ども達は非認知能力を意識した行動をするようになる。
～非認知能力を育てるために大切なこと:【自分で決める】【自分で意識する】【振り返り】～

各園所の8月の様子

～保育研究は中止となりましたが、日々の活動の中で、非認知能力の育成を意識しながら取組みを進めています。～

網野こども園



プール遊びです。約束を守りながらも笑顔いっぱい水遊びを楽しんでいました。水が少し苦手な子どもも、楽しいゲームをする中で、自然と笑顔になっていました。

あみの夢保育園



平均台・跳び箱・大縄等から、自分の挑戦しようと思う種目を選び、自分の力に合わせた取組み方で粘り強く頑張っています。自分なりの方法でやり切った時の笑顔は輝いています。

島津保育所



わくわくカーニバルを実施しました。5歳児が中心となって、年下児と一緒に楽しめる遊びのコーナーを考えたり、必要な物を作ったりして主体的に進めてきました。チームのリーダーとしての活動もしました。

たちばな保育所



夏のお楽しみ会では、5歳児が作ったお化け屋敷を全園児で楽しみました。5歳児は、自分たちで考え、話し合いながら準備を進めました。全園児に楽しんでもらい、満足そうでした。

【連絡先等】 網野中学校 TEL: 0772-72-1030 FAX: 0772-72-1031
メール: amino-jhs@kyoto-be.ne.jp

※ お気付きの点やご意見等ありましたら、お知らせください。